

2016年9月21日
イオン株式会社
イオンアグリ創造株式会社

子どもたちがさまざまな農作業を継続体験！
「イオン チアーズクラブ ファーマーズプログラム」本格開始
第1弾としてイオン兵庫三木里脇農場で、植物の働きと仕組みについて学びます

イオンは本年9月より、「イオン チアーズクラブ(※1)」の子どもたちの環境学習の一環として、継続的に農業を体験する「イオン チアーズクラブ ファーマーズプログラム」を本格開始します。

「イオン チアーズクラブ ファーマーズプログラム」は、収穫や苗の植え付けなどの一側面に限らず、畑の管理なども含めた農作業を体験することで、農業についての理解を深めることを目的に実施します。加えて、植物の仕組みや、農業と環境との関わりなどについても学ぶ機会を設け、1プログラムあたり3～4回のカリキュラムで開催します。複数回の参加を通じて多面的に継続学習する農業プログラムは、新たな取り組みとなります。今後、各地のイオン直営農場などで実施していく予定です。

第1弾として9月22日(木)から、イオン兵庫三木里脇農場にて、同クラブの子どもたち10名が全3回のプログラムに参加します。第1回は「植物の働きと仕組みを学ぶ」をテーマに、成長過程にあるキャベツや大根をいくつか掘り出し、葉や根の役割について学びます。以降は、3R(※2)月間である10月にグループ店舗から出る食品残さの回収や堆肥工場の見学、11月に収穫体験を行う計画です。

イオンは同プログラムを通して、子どもたちが農作物を育てる喜びややりがいを知り、農業へ興味を持つ機会となることを願っています。



「イオン チアーズクラブ」の子どもたちによる農作物収穫体験(イメージ)

【イオン兵庫三木里脇農場での「イオン チアーズクラブ ファーマーズプログラム」について】(予定)

実施日 第1回) 2016年 9月22日(木) 植物の働きと仕組みの学習
第2回) 2016年10月 9日(日) イオングループ店舗で回収した食品残さを
使用した堆肥づくり工場(大栄環境株)見学
第3回) 2016年11月中 農作物の収穫・試食

場 所 イオン直営農場 兵庫三木里脇農場(兵庫県三木市口吉川町)

参加人数 イオンジェームス山店、イオン三田ウッディタウン店の「イオン チアーズクラブ」
の子どもたち 10名

対象農作物 キャベツ、大根、白菜、ブロッコリー等

備 考 イオン兵庫三木里脇農場では、イオングループ店舗の食品残さを有機堆肥として
リサイクルし、その堆肥を使用してイオン直営農場で栽培した農作物をグループ
店舗に供給する「完結型(クローズド)食品リサイクルループ」に取り組んでい
ます。本プログラムで栽培する農作物は、この有機堆肥を使用しています。

(※1)イオン チアーズクラブ:

公益財団法人イオンワンパーセントクラブの支援により、小学校1年生から中学校3年生までの子ども
たちを対象に、環境に関する学習や体験の場を提供しています。全国のイオン店舗を拠点として、地
域の子どもたちが月に1回程度集まり、イオン各店舗の従業員のサポートのもと、環境をテーマにさま
ざまな活動を実施。現在、全国約440クラブ、約7,900名が参加しています。

(※2)3R: Reduce(廃棄物の発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再生利用)

以上

ご参考

【イオンアグリ創造株式会社について】

商号：イオンアグリ創造株式会社
代表者：代表取締役社長 福永 庸明
本社所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
設立日：2009年7月10日
主な事業内容：青果物の生産、加工、卸売、小売
決算期：2月末日
資本金：5,000万円
株主：イオン株式会社100%

2009年7月に設立したイオンアグリ創造株式会社は、全国各地に21カ所のイオン直営農場の運営および農産物の生産委託に取り組むイオン株式会社の連結子会社です。地域密着経営というイオンの基本理念のもと、お客さまにご満足いただける農産物を生産・提供することや、持続可能な未来の農業に参画することを目指し、2009年9月に第1号農場を茨城県牛久市に開場。以来、キャベツやほうれん草といった定番野菜から、在来品種や地域性を鑑みた伝統野菜を約30品目生産しています。

また、イオン農場の野菜は、収穫後直接イオンの物流センターに入り店舗に配送されるため、一般的な市場流通農産物と比較した場合1~2日早く店頭並び、お客さまにこれまで以上に新鮮な農産物をご提供しています。



イオンアグリ創造株式会社

農場MAP

※ 番号は農場が開場した順番です

